



全大教青年交流集会に参加してきました(3)



一日目企画 社会見学(1)

社会見学と銘打っていますが、実際は観光です。ただ、前回も書いたように、この集会には組合に入って間もない子や、組合からいきなり「行って来て」なんていわれた子もいるので、まずはみんなと仲良くなりましょうという企画です。熊大で参加したのはオイラと初心者組合員の子なので、ここはオイラの班の話をしていきます。

オイラの班のメンバーは米子高専(男)、京都大(女)、福島大(女)の四名。まずは軽くジャブ程度に簡単な名前の紹介。そして「何する??」と本題へ突入。集会参加上級者のオイラはみんなの意見に従うということで散策先を決めたのさ。まあ、仙台の歴史なんてのを勉強するのもいいかなということで、青葉城周辺の博物館等をめぐる旅に出かけたのでした。はじめは時間の都合でやめていたんだけど、ちょっとした都合(手違い??)で自然史博物館で開催している「人体の不思議展」をまずは見ることにしました。

これがすごいのだ。本物の人体をアセトン(薬品)に漬け、体の水分や脂等を取り去り、シリコンを流し込み人体標本を作るってやつなんだけど、本当の人体だけあって身体の仕組みがよく分かる。「エグイ」なんていう人がいるかもしれませんが、実際に見てみたら「これ本物の人体使ってるの??」という人もいるくらいです。それくらい精巧に作られた蠟人形のように見えるのです。会場内は夏休みに入ったことも関係してか小さい子供連れやカップルなどで大混雑。



3つのフロアを回るのに1時間ちょい掛かりました。やっぱり真剣に見入ってしまうよ。こんな機会あんまりないからね。

なかには触ることも出来る標本もあり、実際に触ってみるとほんと実際の人を使用しているとは思えません。普通のシリコン人形のようにしか感じません。

写真撮影は出来なかったのでパンフをつけます。またポストカードを2枚購入したんで欲しい人は連絡されたし。# 組合事務所にね



早いもん勝ちです!!

この「人体の不思議展」2002年から日本中を回って展覧しているようです。熊本には来たことないですが、今後、九州には大分と鹿児島が候補にあるようです。

人体の不思議展ホームページ、開催予定(候補地)より。

人体の不思議展だけで1号使ってしまった。この分だとかなり引っ張れるぞ。ということで、次号は「社会見学(2)」をお送りします。